

## 白浜レスキューネットワーク通信 4月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&amp;FAX0739-43-8981

http://srnw.or.jp

e-mail yabiumi@gmail.com

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク  
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人  
 白浜レスキューネットワーク

### 自殺者救済活動

4月1日～4月30日

電話件数 190件

メール相談 3人

手紙 1通

保護件数 4件(男性2名、女性2名)

○4日、白浜警察署からの依頼で男性を保護。3年間自宅に引きこもっていたが、両親と折り合いが悪くなり出てきた。その日のうちに散髪に行かせ、清潔感を取り戻させ共同生活に受け入れた。

○5日、男性を保護。一度家に帰って親と話し合ってから共同生活に加わることになった。

○6日、以前自立し頑張っている男性から、生活に困っている男性を助けてほしいと依頼があった。20日、男性を共同生活に受け入れる。男性は、3ヶ月分給料を貯めてアパートに移る計画を持っていたので、3ヶ月共同生活に受け入れることにした。翌日、姉夫婦が3ヶ月くらいなら受け入れると男性を迎えに来てくれた。

○11日、女性を保護。翌日帰宅。電話での相談を継続している。

○19日、女性を保護。三段壁で説得しきれず、警察に支援を頼む。翌日父親が迎えに来て帰宅。

### 生活自立支援活動

4月1日～4月30日

滞在者数 13人(男性11人、女性2人)

入院者 1人(男性1人)

帰宅 4人(男性2人、女性2人)

○11日、4日に白浜警察からの依頼で保護した男性がハローワークに行った。

○14日、3月22日から入院していた女性が退院した。共同生活に迎えた。花壇の管理な女子

トイレの掃除など、出来ることをしてもらいながら生活していくことに。年金の手続きも完了していることから、6月に受け取っていなかった年金を全額受給できる。新たな人生を歩み始める準備が一つ一つ積み上がっている。

○6日に保護した男性は、後日改めて来たが、自宅へ帰ることになった。

### 自殺予防活動

・まちなかキッチン

毎日220個ほどの弁当を販売。

2名の女性に26日無料弁当を届ける。

・フードバンク&フードドライブ

白浜店、新庄店、東陽店、明洋店、万呂店、田辺ショッピングセンター、御坊店から食材の提供を受けた。

社協や福祉係からの依頼で、3名の方々に2週間分づつ食料提供を行う。田辺市のリーフの職員からの依頼で1人に2週間分の食料提供を行った。

11日、田辺米穀様から第一回目の協力を頂く。

・少年少女漂流隊

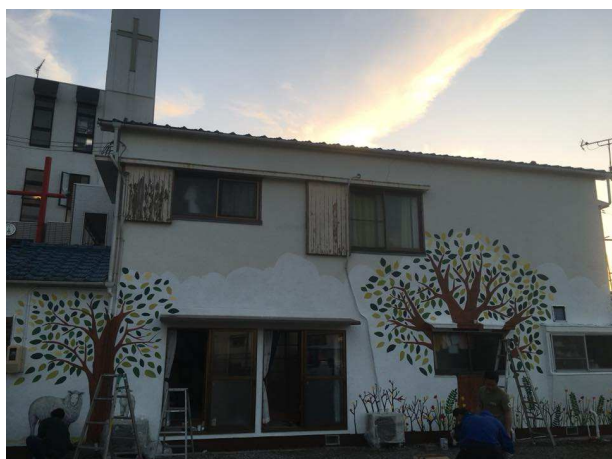
今年度も白浜第一小学校のクラブ活動に協力。第一回目は5月22日と決まる。

・放課後クラブ「コペルくん」(月～金)

2～5名の小学生が来ている。

白浜バプテスト基督教会所有の物件を借用し、1階をコペルくん活動で使用することに。

3月中に建物の一部を改修し、写真のように駐車場からそのまま屋内に入ることで大きな窓をつけた。



韓国から白浜教会にきた宣教チームが、壁に絵を書いてくれた。近所の方にも好評。今までゲストハウスと呼んでいた建物に、前々から温めていた「エジソンハウス」という名前を付け、地域の子どもたちの教育と生活訓練の場とすることを明確に打ち出した。

・コペルくん+(火、金)

4名の小学生たちが来ている。夕食とお風呂をすませ夜8時に家に送っている。

新学期が始まり、火曜日は2人、金曜日は4人という形が定着した。

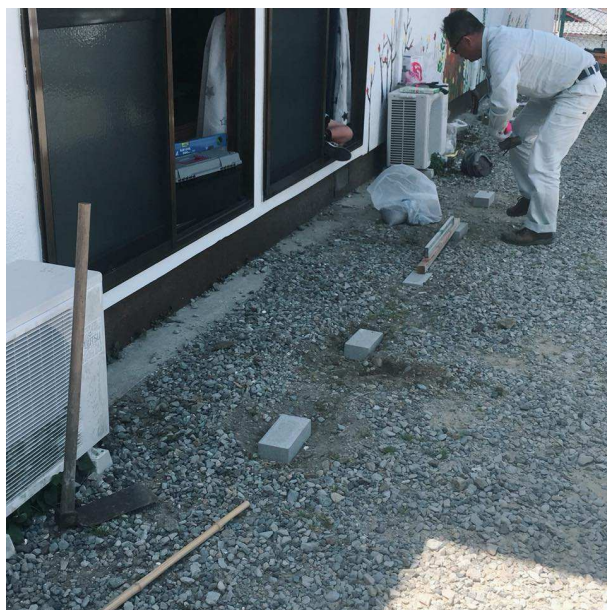
・夜コペ(水、金、夜7:30~10:00)

支援員として3名のスタッフが加わった。

藤田さん、松本さん、山本さん。

・はじめ人間自然塾

縁側を作ろう。29日に開催。



完成写真はありませんが約4時間で縁側完成。

最後まで頑張った子供は2人。

参加した他の子どもたちは、最後は力尽きてリフレッシュにボール遊びやままごとを行う。

・相談電話

4日、11日、18日、25日に行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。

・講演執筆活動

26日、有田川町で講演